

# 令和3年度学校評価結果

お忙しい中、学校評価へのご協力ありがとうございました。昨年度より多い、494人の保護者の皆様からご回答をいただき大変感謝しております。保護者評価結果及び教職員自己評価結果をもとに、学校運営協議会の皆様にも評価をいただきました。「関係者評価(学校関係者評価者の説明)」も併せてご覧ください。

評価結果より、保護者評価においては「よくあてはまる・ほぼあてはまる(マーク4つ以上)」が10項目全てで達成しています。本校の教育活動において、概ねご理解をいただいていることに感謝を申し上げます。設問の3番「基礎学力」と設問の5番「規律ある態度」では90%以上の評価をいただきました。また、設問の4番「授業改善」でも高い評価をいただきました。オンライン授業やタブレットを活用した学習の更なる授業改善に努めてまいります。

今回の児童アンケートでは7項目でマーク4つ以上を達成しました。一方、設問2・8・9番では80%を下回りました。コロナ禍の中、可能な限り学校行事等が実施できるように協議を進めてまいりましたが、結果として学校行事が制限され、児童同士の関わり合いが減っていることが大きく起因していると考えられます。来年度は、教育活動全体で児童相互の関わり合いが増えるような取り組みを増やし、児童がより生き生きと学校生活を送れるようにしてまいります。

## 評価者別集計結果

評価が4・3を成果とし(😊) 1つで20%、5つで90%以上(教職員自己評価は100%の時)

(注)それぞれの質問に対し、児童生徒、保護者や地域、学校全般を振り返り総合的に評価。

4:よくあてはまる 3:ほぼあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:あてはまらない 0:わからない・無回答

### ○学校関係者評価

【赤:増 黒:同 青:減】 ← 昨年度比(3+4)

小数第2位四捨五入

設問	保護者評価					教職員自己評価				学校運営協議会評価			
	4	3	2	1	0	4	3	2	1	4	3	2	1
1 学校は、学校教育目標(進んで学習する子・仲よく助け合う子・健康で明るい子)達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	36.4%	52.0%	2.6%	0.4%	8.5%	10.3%	79.3%	10.3%	0.0%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%
2 学校は、児童が安全・安心に学校生活を送れるような体制を整えている。(いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	32.6%	49.6%	3.8%	0.6%	13.4%	37.9%	51.7%	10.3%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
3 児童は、教職員の指導により、基礎的な学力を身に付けている。	39.9%	53.4%	2.6%	0.4%	3.6%	10.3%	86.2%	3.4%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
4 学校は、児童の学力向上をめざし、児童の実態に基づいて授業改善に努めている。	34.0%	52.2%	3.2%	0.8%	9.7%	27.6%	72.4%	0.0%	0.0%	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%
5 児童は、学校生活のルールを守り、学年に応じた「規律ある態度※」を身に付けている。	35.2%	54.9%	4.0%	0.4%	5.5%	3.4%	65.5%	31.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
6 学校は、児童の実態をもとに、「規律ある態度」指導の工夫・改善に努めている。	32.4%	52.0%	3.8%	0.4%	11.3%	20.7%	65.5%	13.8%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
7 児童は、体育の授業や休み時間に、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	44.3%	42.5%	7.7%	0.6%	4.9%	6.9%	89.7%	3.4%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
8 学校は、児童の体力を高めるための指導の工夫・改善に努めている。	33.0%	49.4%	6.9%	0.4%	10.3%	24.1%	69.0%	6.9%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
9 学校は、保護者や地域と連携し、その力を学力や体力の向上に生かしている。(ホームページ、学校メールによる情報提供を含む)	32.8%	50.8%	4.7%	0.8%	10.9%	24.1%	72.4%	3.4%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
10 保護者や地域は、学校と協力し合い、児童の安全指導・健全育成の活動をしている。	36.6%	52.2%	4.7%	0.4%	6.1%	27.6%	58.6%	13.8%	0.0%	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%

※「規律ある態度」とは、子供が社会の一員として守らなければならない決まりや行動の仕方を身に付け、時と場に応じて自ら行動し、責任のある態度が取れるような態度のことです。

### ○児童アンケート

設問	児童アンケート				
	4	3	2	1	0
1 学校みんなは、学校やクラスの目標に向かって、先生や友達といっしょにがんばっていますか。	51.6%	39.1%	5.4%	0.6%	3.3%
2 学校みんなは、いじめなどせず、元気で安全に生活していますか。	40.3%	34.7%	14.9%	4.4%	5.7%
3 学校みんなは、学校の授業にがんばって取り組んでいますか。	58.9%	33.9%	4.3%	0.7%	2.3%
4 先生の授業はわかりやすいですか。	76.7%	18.3%	3.4%	0.0%	1.6%
5 学校みんなは、学校のルールを守って生活ができていますか。	37.0%	44.0%	11.0%	2.7%	5.3%
6 学校みんなは、誰とでも仲良くしたり、当番を守ったりしていますか。	61.2%	28.9%	5.7%	1.4%	2.8%
7 学校みんなは、学校でたくさん体を動かしていますか。	56.3%	29.9%	8.3%	0.6%	5.0%
8 学校みんなは、体育集会や風の子タイム、縄跳びなどをがんばっていますか。	40.5%	31.7%	6.3%	2.8%	18.6%
9 行事のときなどに、お家の人や地域の人が手伝ってくれているのを見ますか。	52.6%	25.3%	7.8%	3.4%	10.8%
10 お家の人や地域の人は、通学路や地域で、みんなの安全を守ってくれていますか。	69.0%	19.1%	3.4%	2.6%	6.0%

### <保護者の皆様からいただいた主な意見について(一部抜粋)>

- 学校での子供たちの生活を常に見守ることはできていなくても、親として、学校や地域の方に助けていただき、子育てできていることに、感謝しています。すくすくと子供たちが育っているように、日々感じています。
- オンライン授業などをコロナ禍でも積極的に取り組んでいることが評価できる点だと思います。家庭での学習や宿題も主体的に取り組めるようになったと感じます。
- 先生には、日々細やかなところまで、学力からお友達との関わりまで、気にかけて、声をかけてくださり、感謝しています。
- 担任の先生はとても信頼できる方で、安心して子供をお願いしています。特に子供の良いところを伸ばし、自己肯定感を高めさせてくれていると思います。新しい取り組みも、子供の好奇心を尊重していただき、この1年で色々な事ができるようになりました。
- コロナで外遊びが家庭でも減り、学校でも体力強化に力を入れてほしい。学校の友達みんな楽しく汗を流してほしい。  
⇒体育授業や外遊びなどを通して、体力強化に努めております。来年度は二小の体力の課題に沿った取り組みをしてまいります。
- 運動会は開催したのに風の子マラソンをやらないのが残念。理由がよくわからなかった。  
⇒感染状況と運動の特性を鑑み、感染防止を第一に考え中止としました。
- 交通安全については、もっと対策が必要のように思います。下校時や、夕方に複数人で車道を走ったりしているので。都度注意はしていますが...
- ⇒学校での指導はもちろんですが、ご家庭でもお話いただけるとより効果が上がると思います。ご協力をお願いします。
- 運動会や学校公開が縮小されている中で、学校の様子をなかなか肌で感じられないのは残念です。実態が把握しづらく心配です。  
⇒国や県から感染防止の要請もあり、縮小しました。来年度も状況を見ながら、学校公開や授業参観を行ってまいりたいと考えています。
- 子供たちのためにもイベント(行事)の開催をよろしく願います。  
⇒子供同士の関わり合いがとても大切であると考えています。感染防止対策に努めながら、出来る限り子供の活動を増やしていきます。

令和3年度 朝霞市学校評価  
学校評価(共通項目)評価書

令和4年3月4日  
朝霞市立朝霞第二小学校

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	B	コロナ感染状況を見極めながら児童の安全・安心を第一に考え、学校教育目標「進んで学習する子」「仲よく助け合う子」「健康で明るい子」の達成に向け、教職員が一丸となって教育活動を行っている。児童の学びが保障できるようにタブレットを活用してハイブリッド学習を実施するなど、計画的に準備を進めた。また、林間学校や修学旅行、運動発表会等の各種行事を工夫して実施した。引き続きコロナ感染防止を徹底し、保護者や地域との連携を深めがら質の高い二小教育を創造する。	A	・コロナ禍で大変な中、子供達のために教職員の皆様が丸ごとになって様々な取り組みをされていて良い。 ・保護者の意見の中で、「二小で良かった」という意見が多数上がっている。先生方の努力の成果だと思われる。 ・学校での子供たちの生活を常に見守ることができなくても、親として、学校や地域の方に助けをいただき、子育てが出来ていることに感謝している
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。(※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	B	6月に地震・火災を想定した避難訓練を実施した。その後は、集合型の避難訓練が難しいため、訓練風景や災害のビデオ学習をしたり放送型の避難訓練をしたりして、児童自身が自分の身は自分で守る意識を高めた。教職員も児童を守るために学校施設の状態を確認し、不審者訓練を行った。学校管理下外でも不審者情報を学校メールで確実に配信した。また、「学校生活ふりかえりアンケート」を全クラスで定期的に実施して、いじめの未然防止・早期発見、再発防止に組織的に取り組んでいる。今後も児童の防災・防犯意識を高揚させ、安全に行動できる力を高めていく。	A	・子供たちは落ち着いて生活している様に見受けられる。 ・児童の8割近く、保護者は8割以上がいじめ無しと回答している。「ふりかえりアンケート」は自分では書けなくても、周りの児童は書きやすく、また学校が聞いているという姿勢を見ることが抑止力につながる。二小の児童は守られていると感じているのではと思われる。 ・他校での事例だが、コロナ関連でお休みしている児童が家の前で遊んでいて、それが苦情として寄せられることがあった。新型コロナウイルス感染症により学校現場の苦勞が伺える。 ・不織布マスクの有用性が言われている。児童はマスク着用をよく行っているが、挨拶運動等では、布マスクの児童を見かけることもある。 ・娘が夕焼けチャイムで帰ってこなかった時、先生方全員で探してくれて、その対応の速さに、二小について良かったと思った。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B	歌唱・調理実習・実験等の感染リスクの高い活動ができない状況下、iPadを活用した鍵盤学習やzoomを活用したオンラインでの学習を行った。国語や算数、理科では繰り返し学習できるeライブラリコンテンツを活用し、個別最適な学習、基礎基本の学力を伸ばす取組を行っている。来年度も一斉学習の良さを生かしながらICTを効果的に活用して、学びにおける基礎基本を伸ばしていく。	B	・教職員の教育的熱意が児童保護者に伝わっているように感じた。 ・埼玉県学力・学習状況調査等の取組で保護者は自分の子の学習状況を把握できるが、学校全体としての状況はつかみにくいのではないかと、学校は学力向上や規律ある態度育成等について様々な取組を行っているため、それを発信し、更なる見える化を進めると良いのではないかと。 ・子供の良いところを伸ばし、自己肯定感を高めさせてくれていると思う。新しい取り組みも、子供の好奇心を尊重してくださる、この1年で色々な事ができるようになった。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	B	年度当初に保護者にシラバスを配布し協力を得られるようにした。また、「授業のきまわり5箇条」や学力向上プランを見直し、授業改善に役立っている。本校児童の課題「自分の考えを話したり相手の考えを聞いたりすること、自分で考えて主体的に行動すること」を踏まえ、今年度は特別活動の研究に取り組んだ。自分の考えを発表する力や話し合いを通して合意形成を図る力の向上が見られた。今年度の県学力学習状況調査では、国語の「話すこと・聞くこと・書くこと」に課題が見られた。これまでの研究の成果を生かしながら国語科の研究を進め、話す・聞く力を高めていきたい。	B	・通知表の所見について多くの意見が出されている。所見の意味合いとして、記録に残しておくこと、家庭とのコミュニケーション・アドバイスが考えられる。来年度以降の取組の精査を。 ・オンライン授業などをコロナ禍でも積極的に取り組んでいることが評価できる。 ・日々細やかなところまで(学力からお友達とのかわりまで)、気にかけて声をかけてくださり、感謝している。 ・教科によってレベルでクラスを分けて学習すると全体的な向上につながると思う。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	B	あいさつ運動は、教職員や児童会だけでなく、学校応援団の協力も得ながら継続して取り組んできた。その成果が実り、元気な挨拶ができるようになっている。今年度は「廊下歩行」に重点をおいて取り組んだ。高学年の児童が廊下に立ち注意喚起することで児童同士で習慣化を図った。来年度も上級生が下級生を指導していく二小の取組を確立し、児童の発達段階に応じた規律ある態度を育成していく。	B	・教職員の学校評価にも出ているが、『児童が生活のルールに基づいた「規律ある態度」を身に付けている』の項目が比較的低い数値である。この部分は、学校だけでは向上させることが難しい。地域の方、とりわけ家庭との連携が重要になるとと思われる。 ・子供の個性や成長に応じて見守り指導していただきたい。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	B	年度当初の職員会議で、「基本的生活習慣の形成・問題行動の未然防止・豊かな心をもつ児童の育成」の視点から、二小の生徒指導計画を全教職員で共有し実践している。また、職員があいさつ運動に参加するなど、普段から元気な挨拶を率先垂範することで、児童の明るい元気な挨拶につながっている。生徒指導部を中心とした「おあしす運動」の取組や実態把握の数値化やくつびタキャンペーン、基本的生活習慣育成に向けた家庭との連携などを進めてきた。	B	・課題がある児童については家庭との連携が重要である。その窓口として、スクールカウンセラーの役割が大きい。二小でもスクールカウンセラーへの相談が多いと聞かぬが、いかにせん月1回程度の派遣では回数が少なすぎる。効果的な活用のため回数を増やせないか。回数が増えれば先生方への研修の機会等を持つこともできるとと思われる。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	B	昨年度に引き続きコロナ禍で運動も外遊びも難しい状況ではあったが、体育が好きな児童が多く、感染防止に注意しながら楽しく運動している。ICT活用により俯瞰的に自らの技量を観察できたり、動画で上手な技を確認できたりする環境の中で主体的で課題解決的な運動に取り組めた。来年度はコロナ禍で中止となった風の子マラソンや各種の運動教室を行い、コロナ禍で低下した体力を向上させたい。	A	・コロナ禍で休み時間の外遊びが減り、家庭でも外遊びの機会が減っているというアンケートがあった。学校でも体力強化の取組を引き続き進めていきたい。 ・休み時間の外遊びが減っているので、工夫が必要だと思う。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	B	今年度も制限のある体育授業の中、体力を高めるために意図的に補強運動を取り入れた。家庭みんなで取り組める体力アップの取組を啓発したりした。昇降口には体力アップのコーナを設置し、自分で考え、主体的に取り組めるようにした。授業改善として、児童が主体的に考え行動する学習カードを刷新した。来年度も生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現していく資質や能力を育成していきたい。	A	・プールの授業が年々少なくなり、夏休み中もプールが無いので泳げないのが気になるというアンケートがあった。コロナ禍で密になれなかつたりマスクをできなかつたり、熱中症の暑さ対策があつたりという理由は理解できるが、工夫した取り組みを期待する。 ・風の子マラソンは中止となったが、来年度の開催に期待したい。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	B	家庭・学校応援団と連携し、学びの質を高める取組を進めてきた。今年は集合型で、「夏休みちやれんじスタディ」を実施した。運動発表会のライブ配信や学校ファームでの植栽活動、町内会による消毒作業、分散登校時のハイブリッド学習やPTAによるトイレ清掃などで、多くの方々の協力をいただいた。こういった取組が評価され、「埼玉・教育ふれあい賞」を受賞することができた。来年度は、調理実習や読み聞かせの活動を復活させ、地域の教育力を生かしていきたい。	A	・コロナ禍で学校に伺う回数も減ってしまい申し訳なく思う。校長先生、教頭先生をはじめ先生方にはオンラインなどの作業なども増えて大変な状況だと思ふ。これからも地域でいろいろな体験ができるようお役に立てる様にできたらと思っている。 ・ちやれんじスタディについて、どういう形で行うと良いか、学校や教職員から積極的な意見をもらえると良い形になっていくと思われる。地域連携推進委員会で意見交換を行っていききたい。 ・学級通信による週単位の学習予定が、家庭での予習・復習に役立っている。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	B	防犯パトロールやボランティアとして地域の見守り隊に多くの人が参加されている。今年度は、地域探検の際の交通見守りやプール学習時の安全確認を内容とした「プール支援隊」にも協力いただき大変助かった。児童の安全・安心・健全育成の点からも大きく貢献していただいた。来年度も、二小児童一人一人に未来を生きる力(確かな学力・豊かな心・健やかな体)を育んでいけるよう、保護者・地域の方との絆を深め、「信頼される学校・地域とともにある学校」づくりを進めていく。	A	・今回、保護者会がオンライン開催になったが、保護者間のコミュニケーション不足が心配である。 ・学校運営協議会からの提言として、スクールカウンセラーの回数の増加と、保護者から意見が多かった施設設備の改善、とりわけ南校舎のエレベータ設置について早急な対応をお願いしたいと考えている。 ・校長先生のお話はとても理解しやすくとても良い人柄と感じられるという保護者アンケートがあった。児童の健全育成に大きな影響力がある。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA~Dで記入Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以下